

# Vol.51 バリアフリー ムーブメント

「いざ」じゃないとき知る知識！  
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、  
必要なことを先取りしよう！

「今回のテーマ」  
より多くの人に使いやすい  
見やすい表示や地図

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてあげるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。

今回は、新生活に役立つ「使う人のことを考えて作られた表示や地図」を紹介する。

(森川 美和)

近年、バリアフリー化が進む中、駅の構内や公共施設、アミューズメントパークなどで、点字付きの表示や案内板、大きく見やすい文字（フォント）や色使いを使った冊子や案内図などを見かけることが多くなってきてきた。

## 「入る前に知りたいトイレの配置。」 「トイレ用触知案内図」をフル活用！

視覚から得る情報が多い現代社会において、目の不自由な人達が日々感じる不便さは計り知れないものがある。その中の一つに「トイレ」に対する不便さがある。

たとえは知らない場所でトイレに行きたくなった時、人に頼んで入り口まで案内してもらったり、自力でトイレまで辿り着けたりしたとしても、「どちらが女性トイレで男性トイレの入り口なのか」、「配置はどつちつちしているか」、「和式なのか洋式なのか」が分からず、やむおえず、手で配置を確かめたり、足で便座の位置を探ったりしなければならぬこともある。

そんな時に活用したいのが「トイレ用触知案内図」(写真1)である。

「トイレ用の触知案内図」を作成したのは、日本で最初に点字の案内板、触知案内図(触って知ることが出来る図)を作ったサンエ芸(京都府久世郡)である。

(写真1)

■「トイレ用触知案内図」  
寸法：基盤(アルミフレーム)：300×300×2?、画面(アルミ板)：285×285×0.6?  
印刷：SRフルカラー印刷  
加工：プレス一体加工  
定価：別途相談

■お問い合わせ先  
(株)サンエ芸 点字事業部  
〒613-0022 京都府久世郡山崎町 田新珠城 90  
TEL：0774-23-1133  
FAX：0774-23-7788  
e-mail：tenji@sunkogei.co.jp  
URL：http://www.sunkogei.co.jp/main.html



同社は設立から30年以上になるが、「買って目の不自由な人達にとって分かりやすい誘導システム(点字触知案内図等)の開発を行なってきた。制作にあたっては、常に目の不自由な人達の意見を聞き、妥協しないモノ作りにも努めてきた。

その結果、触知しやすい加工(プレス一体加工)を開発、点字が指先に当たる時の負担を軽くした。さらに点字と併用して表示する

活字も、弱視の人や一般の人にも見やすいように「コントラス」や読みやすいフォントを使用している。

「トイレ用の触知案内図」以外にも、場所や環境に応じて点字の設置方法が選べるように、「手すり用点字標示板」や「案内点字標示板」などを用意している。

触知図を触るのに個人差があり、みんなにわかり易い触知図を作る事が重要で、点字の読み易さにこだわり、レイアウトや色使い・文字の大きさ等、日々勉強です。」と話した。

## 「見やすく使いやすい」「バリアフリーマップ」印刷、表示にも工夫がたくさん！

最近各地域で、町の様子を図記号や読みやすい文字などを使って作成した「バリアフリーマップ」を目にする機会が多くなってきた。

バリアフリーマップは、冊子だけでなくインターネットでも公開されているものもある。自分の環境にあった方法で情報を得ることが出来るのも嬉しい。

中でも、江戸川区のバリアフリーマップ(写真2)には、障害のある人達への配慮が満ち溢れている。

本マップを制作したのは、ユニバーサルデザイン印刷を専門とする(株)フライング(東京・千代田区)。同社が2004年に江戸川区の委託を受けて作成したものだ。(写真3)小川印刷の事業部長(

バリアフリーマップの作成にあたっては、江戸川区に住む高齢者や障害のある人達の職員や同社の社員が一括になって、情報収集グループを作り、皆で町を散策しながら生の声を集めた。

調査の結果、「駅構内や駅の周辺の情報が知りたい」、「トイレの場所が気になる」、「近所のスーパーやコンビニを教えてください」という声のほか、「近所のポストの場所が知りたい」という利用者ならではの意見も聞かれた。(掲載店は、公募によるもの)

●情報を分かりやすく集めた情報は、多くの利用者にとって使いやすいものとするために、「難しい漢字に

は、できるだけ読み仮名をつける」、「色の識別がうまく出来ない人もいるので、分かりやすい色にする」、「絵記号はひとめで分かるものにする」、「ことに気を配って作成を行った。

さらに全ページに「二次元コード」読み取りソフトを、音声でページの情報を読み上げてくれる機能もつけた。

同社取締役統括ディレクターの渡辺慶子さんは、「実際にマップを使う方々と一緒に楽しく制作しました。また、調査を通じてバリアが明確になり、お店の人達も積極的に改善してくれました。このバリアフリーマップは、障害や年齢に関係なく、一冊で一掃に読める(聞ける)ように工夫しました」と話した。



(写真2)「江戸川区バリアフリーマップ」



■「江戸川区バリアフリーマップ」に関する問合せ先  
江戸川区 都市開発部 都市計画課  
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1  
電話番号：03-5662-6368 (ダイヤルイン)  
E-mail：machi-webmaster@city.edogawa.tokyo.jp

■その他のバリアフリーマップ制作等のお問い合わせ先  
(株)フライング 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1 ステージ駿河台4階  
TEL：03-5259-8833 FAX：03-5259-8831  
e-mail：info@bright3.jp/URL：http://www.bright3.jp